

平成 30 年度事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障害の有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

法人の組織を安定化するため、平成 31 年 2 月に事務パート職員 1 名を採用し、次年度の職員補充を見据え同年 3 月にはパート職員として 1 名の研修受け入れを行った。他方、3 月末付けでの常勤職員が退職となり、安定した事業継続のために職員のスキルアップと業務の効率化が課題となった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

① 障害児・者の休日支援事業

支出額 8,919 千円

A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障害のある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。中原特別支援学校の教室不足に伴い、学校の敷地内にみやき町により学童保育専用の建物が新築され、平成 31 年 3 月に引っ越しを行った。1 年ごとに部屋の変更があるため環境の変化に対応することが必要だったが、今後は落ち着いた環境での保育の充実が課題となる。

実施日：開所日数 289 日

月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～17:00（8:30～18:00 の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校プレイルーム 2

中原特別支援学校放課後児童クラブゆう（H31/3/25以降）

スタッフ数：（述ベ）1,450名

対象者：中原特別支援学校に在籍した児童・生徒

対象人数：（述ベ）2,319名

B. 障害当事者と家族の余暇支援プログラム

障害の種別を問わない多様な障害当事者及び家族が集い、屋内で楽しめるプログラムによって、仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。

実施日：動作法10日

実施場所：さんかく

スタッフ数：

（延ベ）講師20名、ボランティア86名、事務局10名

対象者：障害のある人及び家族

対象人数：（延ベ）利用者・家族74組

② 障害者の就労に関する事業

支出額 201千円

リサイクルショップくるり

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障害のある人の社会参加の促進を目指した。

実施日：通年（イベント3回）

実施場所：旭まちづくり推進センター、鳥栖市社会福祉会館、及び事務所

スタッフ数：（通年）事務局1名、ボランティア15名

対象者：（延ベ）障害のある人や関係者500人

③ 福祉に関する相談支援事業

支出額 24千円

コミュニティサロン

障害の有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

実施日：10日（8月と3月を除く第2水曜日）10:00～15:00

実施場所：法人事務所

スタッフ数：（通年）事務局1名、ボランティア1名

対象者：（延べ）一般市民136名

④障害児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤健康増進事業

支出額 2千円

こころとからだの健康教室ほっと

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしていただいた。

実施日：月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：法人事務所、など

スタッフ数：（通年）トレーナー1名、事務局1名

対象者：一般市民

対象人数：（延べ）30名

⑥福祉啓発事業

支出額 400千円

A. 障害に関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障害のある人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。

実施日：10/25、10/31、2/19、2/20

実施場所：田代まちづくり推進センター、鳥栖市役所、
基山町民会館、鳥栖市学校給食センター

スタッフ数：（通年）1名

対象者：一般市民

対象人数：（延べ）274名

B. エンパワーメントセミナー事業（委託事業：鳥栖市）

障害当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。

実施日：平成30年5月～平成31年2月（9回）※9月は台風で中止

実施場所：鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：（延べ）講師29名、ボランティア29名、事務局19名

対象者：（延べ）ぴあCAFE48名、おやCAFE51名、あなたの相談室2名
保育24名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演、交流事業、原稿執筆等を行い、障害や福祉に関する理解を深めた。

実施日、場所：

2018/04/24 [三養基] みやき町民生委員児童委員協議会 合同研修会
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】*講師
2018/05/01 [三養基] 佐賀県立三養基高等学校 開校記念講演会
【誰もが自分らしく生きていくために】*講師
2018/06/07 [太宰府] 筑紫女学園大学（肢体不自由者の心理・生理・病理）
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】*講師
2018/06/10 [鳥栖] 鳥栖市立基里中学校
（課外授業～みんなちがってみんないい～（佐賀県障害福祉課））
【障害って何だろう!?】*講師
2018/09/27 [佐賀] 佐賀市立昭栄中学校（人権学習講演会）
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】*講師
2019/03/19 [佐賀] 合同学習会（佐賀県教職員組合、等）
【誰もが自分らしく暮らせる社会】*講師
2018年6月、10月、2019年2月
佐賀新聞 私の紙面批評 *原稿執筆

スタッフ数：（通年）1名

対象者：（延べ）会員、福祉関係者、一般市民、等1,500名

⑦ 障害児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業
実施なし

⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 20,210千円

多機能型事業所さんかく

障害のある子ども達の健やかな成長を支援するために、児童発達支援及び

放課後等デイサービス事業を行った。また、夏休みには三養基高校からのボランティアの受け入れ、11月には力士の慰問を受けるなど、地域との交流を図った。

実施日：児童発達支援 月曜～金曜 9:00～14:00

放課後等デイサービス 月曜～金曜 14:00～17:00※延長 18:00

土曜 9:00～17:00(9:00～13:00、13:00～17:00の2部制)

長期休暇 9:00～17:00※延長 8:30～18:00

実施場所：さんかく（みやき町白壁）

スタッフ数：職員（述ベ）1,756名、ボランティア（述ベ）13名

対象者：児童発達支援・未就学の児童

放課後等デイサービス・就学期の児童

対象人数：（延ベ）2,300名

⑨ 障害者総合支援法に基づく事業

実施なし

⑩ 上記の事業を達成するために必要な事業

支出額 24千円

市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行うと共に、各種審議会等の委員としての政策提言等を行った。

<委員会、会議等>

ア. 佐賀県スポーツ推進審議会（芹田：委員として）

イ. 佐賀県障害者差別解消に関する座談会（芹田：委員として）

ウ. 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議（芹田：委員として）

エ. 鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会（芹田：委員として）

オ. 鳥栖・三養基地域自立支援協議会（構成団体として）

カ. 鳥栖市障害者理解促進実行委員会（芹田：委員として）

キ. 朝倉市提案公募型協働事業審査会（芹田：審査員として）

ク. HAPPYぼうさいアドバイザー会議（芹田：委員として）

ケ. 鳥栖市障害のある子どものための条例づくり勉強会（芹田：助言者として）

<イベント等>

ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン※さんかく名義で

（イオン上峰ショッピングセンターに参加）

イ. ふれあいスクール（芹田：校長として）

ウ. チームA B C D（構成団体として）

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

①自動販売機設置事業

支出額 9千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金面で補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する企業内

スタッフ数：(通年) 1名